

# おやま 市議会だより



第257号

## ●主な内容

# 平成24年度一般会計補正予算案を可決、 平成23年度全特別会計決算を認定

議案とその内容……………②	審議結果一覧……………③
請願・陳情……………②	委員会報告……………③④
人事案件……………②	市政一般質問……………⑤～⑨
意見書……………②	議会日誌……………⑩

平成24年11月1日号



平成24年度小山市総合防災訓練

# 9月

## 定例会のあらまし

平成24年9月3日～9月26日

平成24年第3回(9月)定例会は、9月3日～26日までの24日間の会期で開かれました。本定例会では、平成24年度一般会計補正予算案をはじめ、平成23年度全会計決算の認定案、条例の制定、一部改正案などについて審議しました。

9月3日、市長から所信表明および市政一般近況について報告があり、続いて議案24件、報告7件が上程され、提案理由の説明を受けた後、人事案件2件を即決しました。

9月5日～7日および10日は、15人の議員が市

政に対して一般質問を行いました。10日は上程議案に対する質疑の後、各委員会への付託を行い、これを受けて、12日～14日、18日および19日に各委員会がそれぞれ開かれ、付託議案、陳情について審査を行いました。

26日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案21件を可決・認定、1件を継続審査、陳情2件を採択しました。さらに議員提出議案2件が追加上程され、これらも可決し、定例会を閉会しました。

# 主な議案

9月定例会における市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

### ◆平成24年度小山市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ2億1532万8千円の増額補正。主な歳出内訳は、渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録事業費、緊急雇用創出事業費、小山運動公園改修事業費など。これにより、補正後の予算総額は、559億8532万8千円。

◆平成23年度小山市国民健康保険特別会計(事業勘定)ほか7特別会計決算の認定 歳入決算額は307億2145万8千円。予算額に対する収入率は98.0%。歳出決算額は

は301億177万2千円。予算額に対する執行率は96.1%。歳入歳出差引額は6億1968万6千円。

### ◆地方独立行政法人新小山市民病院評価委員会条例の制定

について 平成25年4月から市民病院が地方独立行政法人に移行することに伴い、地方独立行政法人法第11条第3項の規定により、地方独立行政法人評価委員会の組織および運営について定めるとともに、関係する条例に所要の改正をするもの。

◆内容 評価委員会の組織、委員、会議等の基本的事項を規定する条例を制定する。

◆施行日 公布の日

◆小山市火災予防条例の一部改正について 対象火気設備

等の位置、構造および管理ならびに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令が公布されたことにより、所要の改正をするもの。

◆改正点 電気自動車用の急速充電設備を火気設備等の対象に追加する。

◆施行日 平成24年12月1日

◆財産の取得について 消防本部庁舎の建設に伴い、高機能消防指令センターを整備するために議会の議決を求めるもの。

◆購入金額 2億2680万円

◆相手方 日本電気(株)宇都宮支店

◆納期 平成25年9月28日

## 請願・陳情

9月定例会では、継続審査としていた陳情1件と新たに

### 新たに受理したもの

#### 陳情 1件

●国民健康保険への国庫負担増額を求める陳情

〔提出者〕宇都宮市宝木町2-1101718

栃木県社会保障推進協議会

会長 大根田 紳

〔趣旨〕国民健康保険税を納入できない世帯が増えており、厚生労働省の発表では、加入世帯の2割にのぼっている。国が補助金を大幅に減らしたことが大きな原因になっており、各自自治体では、厳しい財政の中で保険税を上げざるを得ない状況も見られる。国民皆保険制度の土台として、医療が受けられない事態があら

わらない。

## 人事案件

### ◆教育委員会委員の任命

小山市西城南3丁目13番地6 酒井 一行(再任)

昭和23年7月23日生

### ◆固定資産評価審査委員会委員の選任

小山市大字南小林22番地7 新村 昇一(新任)

昭和23年1月29日生

小山市大字黒本185番地 高瀬 孝明(新任)

昭和21年8月13日生

小山市大字下生井863番地 松本 治(新任)

昭和21年7月3日生

昭和21年7月3日生

## 意見書

定例会最終日、民生消防常任委員会から意見書案が2件提出されました。

国民健康保険への国庫負担を増やすように国に意見書を提出してほしい。

▽審査結果 採択

継続審査に付されていたもの

●「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出を求める陳情

▽審査結果 採択

平成 24 年 9 月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致による)

Table with 3 columns: 議案名, 議決結果. Lists items 57-71 with their respective titles and outcomes like '原案可決' or '継続審査'.

Table with 3 columns: 議案名, 議決結果. Lists items 72-79 and 陳情第24-5号, 議第5号 with their respective titles and outcomes like '原案可決' or '採択'.

※議案第59号は、議会閉会中に決算審査特別委員会を招集して審査しました。

(起立採決による)

Large table for voting results with columns for 議員名, 議決結果, and 賛成/反対 counts for various items (56, 60, 61, 65, 68, 陳情第24-4号, 議第6号).

※ ○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席 ※ 議長(野村広元)は採決に加わりません。

審議の結果、原案どおり可決し、内閣総理大臣ほか衆参両院議長、関係大臣あて送付しました。

国民健康保険への国庫負担増額を求める意見書 「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書

委員会の審査から 議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会...

国民健康保険への国庫負担増額を求める意見書 「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書

▼平成24年度小山市一般会計補正予算(第1号) 債務負担行為補正に追加...

企業調整費に補正計上の渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録事業費では、関係他市町との連携を図るのか。

Committee Review section with a large vertical title '委員会審査から', a pie chart, and detailed text about budget review and committee decisions.

生しやすく、かくはん装置が必要となつていきますので、学習教材として教育的意義がある水車を設置し、かくはんしたいと考えています。

## 決算審査



▼平成23年度一般会計歳入歳出決算の認定について

今回の委員会では、各部長等から主要事業等の説明を受けた後、閉会中の継続審査とすることに決しました。

## 総務



▼小山市長等の給与及び旅費に関する条例及び小山市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正について

問 三役の給与を減額する理由は。

答 市長は平成12年から、副市長、教育長は平成14年から行政改革の一環として減額措置を行ってきたものを、さらに2年間継続するものです。

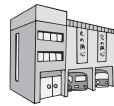
▼財産の取得について（高能消防指令センター整備）

問 指名競争入札の結果、指名業者8社中6社が辞退した理由は。

答 辞退の理由としては、プ

ロジェクト管理者の確保が難しいこと、納期に間に合わないこと、自社都合となつていきます。

## 民生消防



▼平成24年度小山市介護保険特別会計補正予算（第1号）

問 国庫・県補助金過年度償還金の内容は。

答 平成23年度の保険給付費が確定したことで、国および県の法定負担金を精算するための返還金です。

▼平成23年度小山市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について

問 不納欠損処理の手續きと未納対策は。

答 滞納者の生活状況等を調査したうえで、著しく生活困窮と認められる場合に執行停止を行い、執行停止から3年が経過した時点で不納欠損処理をしています。防止対策としては、日頃の納税相談等を通じて現年度課税分の納入を促し、滞納繰越額の圧縮に努めています。

▼平成23年度小山市病院事業会計決算の認定について

問 6億7047万円余りの医業損失の要因は。

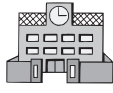
答 産科・脳神経外科・眼科の3診療科が休止、または外来のみの診療となったことで、入院・外来患者数いずれも前年度に比べ減少し、入院収益で約2億8000万円、外来収益で約1億5000万円それぞれ減収となったことが主な要因です。

▼小山市遺児手当支給条例の一部改正について

問 条例改正の背景は。

答 市民税所得割が課されていないことが遺児手当の支給要件です。国の税制改正による扶養控除廃止に伴い、市民税所得割が課されて遺児手当が支給停止にならないよう、条例を改正して特例等を定めるものです。

## 教育経済



▼平成23年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 分担金の負担割合は。

答 受益面積に応じて分担金の負担割合を決定しており、栃木市が10%、野木町が10%を負担し、残り80%を管理者の小山市が負担しています。

▼平成23年度小山市農業集落排水処理事業特別会計歳入歳

出決算の認定について

問 役務費を増額したにもかかわらず不用額がでた理由は。

答 農林水産省の通達で汚泥中の放射能測定を毎月実施することが必要となったため手数料を増額補正しましたが、排水処理施設の利用が少なかったため、当初予定していた汚泥引抜作業の不用額が生じました。

▼小山市公民館条例の一部改正について

問 新たに整備した公民館会議室棟の面積、費用及び利用開始日は。

答 床面積は98.96㎡で、費用は10年リースで1890万円、利用開始日は平成24年10月1日を予定しています。



中公民館に新設された会議室棟「うずま館」

## 建設水道



▼平成23年度小山市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 受益者負担金に不納欠損額が生じているが。

答 下水管を敷設した下水道事業の受益者の中には、下水道に接続していないなどの理由から負担金を納入しないケースもあり、対応に苦慮しています。平成23年度決算における不納欠損額は378万7660円、件数は129件です。前納報奨金制度を設けて、納付促進を図っています。

▼平成23年度小山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

問 浄水場内で保管している浄水発生土の処分は。

答 平成23年6月に厚生労働省から処分の基準が示され、8000ベクレル以下の浄水発生土は、中間処理後、管理型の最終処分場への処分が可能とされました。当市の浄水発生土は200〜300ベクレルであるため、中間処理業者を通して、管理型最終処分場に搬出処分しています。

# 市政を問う

## 9月定例会市政一般質問

9月5日から10日にかけて、15人の議員が市政の諸問題や将来の展望などについて一般質問しました。

### 広域訴訟事件の今後の対策

石島 政己

**問** 小山広域の訴訟事件の敗訴を受け、この事件の本質は何か。今後の対策について、市民への説明責任を果たせ。

**副市長** この事案については、小山広域としては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適正なごみとして相手方に搬出したという認識です。一方、相手方は、肥料取締法において、コンポストの精製に支障を生じた部分で認識が違い、今回の訴訟に至ったものです。しかし、最高裁判所

より上告棄却の決定が下され、敗訴という結果は厳粛に受け止めなければならぬと感じています。現在、コンポスト搬出について双方の主張し合

いの中で、市民への説明を今行うのが適切かどうか慎重に判断したいと考えています。

### 不当要求者への組織的対策を

**問** 三年程前から毎日のように来庁している不当要求者に対する対策として組織的な統一対応が必要。早急な対策を。

**副市長** 当該者の行為に組織として統一した対応を行うため、顧問弁護士を含めて設置

### 市立体育館

角田 良博

した小山市不当要求行為等対策委員会において、マニュアル等を作成・周知しており、その行為は委員会でも不当要求であると認定しています。現段階では、特定の個室に誘導して、係長以下の職員等に接触しないよう、部長・課長等が対応しています。不適切な言動が積み重ねられれば、業務妨害という形での対応も考えて、顧問弁護士と十分協議して対応していきます。

**問** 市立体育館について、どのような議論でKDDI用地に決めたのか。また、周辺道路の整備はどうするのか。

**教育部長** 平成23年11月の議員全員協議会で新たな候補地を含め再度選定されたいとの指摘を受けて、平成24年5月と6月に教育施設整備調査委員会と教育委員会を開催し、

### 17も医療費現物給付の拡大

生井 貞夫

**問** こども医療費の現物給付方式について、自動償還払い方式も含めて質問・予算要望してきたが、現物給付の拡大はできないか。

**市長** 市では子育て支援の重要な施策として、こども医療費助成がより利用しやすくなるよう、現物給付方式の導入を検討してきました。助成対象者の年齢拡大と現物給付方式の導入を比較し、より要望の多い現物給付方式の導入を対象者の年齢拡大に先行して実施したいと考えています。現物給付対象者の範囲は、医療機関受診の機会の多い若年層ということで、市内医療機関を受診した小学6年生までとし、平成25年4月診療分から実施する予定です。

### 普通教室へのエアコン設置

**問** 真夏日が更新されていく中で、夏の猛暑対策として普通教室へのエアコン設置は。

**市長** 市では教育環境の整備を最重要事業施策として推進しており、小・中学校の普通教室等エアコン設置事業を市総合計画に位置づけました。

## 議会だより 表紙写真募集

- あなたも「議会だより」に写真を投稿してみませんか。
- 写真は「議会だより」の発行月（1月・2月・5月・8月・11月）に合わせた小山市内の季節感のあるものを募集しています。
- あて先／小山市中央町1丁目1番1号 小山市議会事務局  
問い合わせは・・・議会事務局（☎22-9463）までお気軽に！

平成24年度から調査・研究を行い、安全性・環境問題・イニシャルコスト・ランニングコスト等詳細に検討した結果、空気熱源ヒートポンプエアコンを、平成25年度8小学校と11中学校に、平成26年度19小学校に、13年間のリース方式で設置する計画です。

### 小山市民病院の存続

石川 正雄

**問** 小山市民病院の存続について問う。

**市長** 現市民病院を有効活用し、整備していく基本計画としては、市民の皆様引き続き必要な医療の提供として、内科、整形外科等の外来機能の継続、需要の高い回復期リハビリテーション病棟の整備、高齢社会に対応した介護老人保健施設の整備をしていく予定です。これらの整備は、民間医療法人により、平成29年度には運営が開始できるスケジュールとなっています。今後、跡地利用庁内検討委員会を設置し、庁内および関係機関と調整を図りながら、病床再編成計画の手續や医療法人に対する公募、近隣自治会への説明などを進めていく予定です。

### 窓ガラス安全フィルム対策

**問** 各学校の窓ガラス安全フィルム対策について問う。

**教育部長** 小中学校および保育所の窓ガラスに飛散防止フィルムを張ることは、強風時の減災に有効であると思われ、現在国の関係省庁で構成された竜巻等突風対策局長級会議における方策では学校においてガラスの安全対策を進めることになっています。文部科学省においても突風被害軽減策について総合調査を行っておりますので、文部科学省からの安全で安心できる窓ガラス対策の方針を待ち、対応を行ってまいります。

### 評定10策実現への取り組み

大出 ハマ

**問** 市政運営について、市長の小山を創るの評定10策の具体的実現の取り組みは。

**市長** 評定10策実現のため、「人・行政を創る」では、市民の意見を反映させる場の充実、さらに便利な市役所を目指し城南・桑中心施設の開設、こども医療費無料化の対象年齢引き上げ、私立高校誘致・小中一貫校実現等に取り組めます。「まちを創る」で

### 市政一口メモ

※1 イニシャルコスト

機器や設備、システムなどを新たに利用する際に、その導入に必要な費用。設備費用・導入費用とも呼ばれる。これに対し、導入後の運用や保守などメンテナンス

にランニングコストと呼ばれる。イニシャルコストには、新規導入にかかる開発やテストなどの費用も含まれる。

### 農道交差点の事故防止対策

**問** 農村地域の交通事故防止対策について、農道交差点の事故防止対策の取り組みは。

**建設水道部長** 今回初田、下



農道交差点の事故防止対策を実施

### スポーツコミッション事業

荒川 美代子

**問** 全国大会等を誘致し運営における経済効果をあげる小山市スポーツコミッション事業に取り組むのでは。

**市長** 小山市では、「市民ひとり1スポーツ」の定着を目指し、スポーツをおやまブランドとしたまちづくりを推進

### いじめの実態と対策

**問** いじめ自殺が社会問題になっている。本市におけるいじめの実態と対策について伺う。

**教育部長** 小山市ではこれまで生命尊重・人権尊重教育を全ての教育活動の基盤に据えた学校づくりを進めてきましたが、実態として悪口など嫌なことを言われるといった現状があります。これらに対応するため、道徳教育や教育相談の充実をはじめ、アンケートの実施など早期発見・早期対応に努め、校内指導体制づくりを進めています。教育委員会としても、ハイパーQ U

検査を実施し、一人ひとりの児童生徒の実態を把握し、いじめの未然防止や認知される事案への対応を進めていきます。

### 市民病院ワークライフバランス

安藤 良子

**問** 市民病院でワークライフバランスをどう考えているか。院内保育所や短時間勤務正職員制度の取り組みはできるか。

**病院長** ワークライフバランスは、病院においても標準的な概念および装備と認識していません。めり張りのきいた労働時間の管理、アメニティ設備の充実、育児支援のための制度や施設の充実は、イニシャルコスト以上の利益をもたらすとされ、自治医大では早い時期から医師の短時間勤務制度、病時・病後・夜間保育を含めた院内保育、休職後の復職プログラムなどが実施されていることから、当病院においても同様の方針で臨んでいます。

きます。男女双方にとって魅力ある働きやすい病院にすることが、医師、看護師確保の面からも大変有効であると考えています。

### 新市民病院の救急体制の充実

**問** 新小山市市民病院開院に向けて、救急体制の充実はどうするのか。夜間救急対応で検査体制や管理看護師はどうしているか。

**病院長** 救急患者の診療に備え、臨床検査、放射線検査を担当する職員が当直体制に入っています。また、心臓カテーテルや内視鏡検査を行う医師、治療に関わる医師、看護師がオンコール体制になっています。今後、当病院が救急体制を充実するためには、当直体制の整備は重要と考えられることから、病院の看護体制全般の見直しにあわせて、管理当直体制の整備について検討を進めたいと考えています。

### 平成23年度決算の特徴

福田 洋一

**問** 平成23年度決算の特徴として被災への対応とあるが、財源は。

**企画財政部長** 東日本大震災および原発事故対策の対応において、福島県からの避難者の受け入れ、被災地への緊急消防援助隊や職員派遣などの被災地支援、公共施設の災害復旧、被害を受けた市民への災害見舞金、住宅修繕の補助金の支給、放射能測定器の購入など、平成22年度4200万円、23年度5億2500万円の経費がかかっています。

**財源としては、** 県の補助金（災害援助費負担金や東日本災害復興推進事業交付金等）で1億1200万円、震災復興特別交付税が2億8900万円、その他、とちまる募金、義援金など3200万円の受け入れ

### 大沼の活用と周辺まちづくり

があり、市の実質負担額は1億3400万円です。

**問** 大沼周辺地区は、今後桑地区中心施設の計画がされているが、大沼の活用と周辺地区のまちづくりの考え方は。

**都市整備部長** 市街地に隣接し、貴重な自然資源で、市民の憩いの場となっている大沼は、日本のため池百選に選定されたのを機に、観光の拠点としての活用が望まれています。桑地区中心施設基本構想を策定する一方、都市計画道路路小山・国分寺線の整備が進められるなど、大沼周辺において新たなまちづくりが進められようとしていることから、おおむね5年以内に実施可能な事業について整理を行い、次期都市再生整備計画に盛り込むなど、都市整備を推進す



桑地区中心施設が計画される大沼周辺地域

るための羽川、大沼周辺地域における構想を策定することとしています。

### 公共施設見直し計画

中屋 大

**問** 適正な施設配置と効率的な管理運営に向けた計画が必要。小山市には、公共施設の見直し計画はあるのか。

**企画財政部長** 小山市には、市庁舎をはじめ小中学校や公民館などの教育施設、保育所や学童保育館などの保健福祉施設、消防本部や分署など、多くの公共施設があります。市民の皆様が安心・安全にご利用いただくために、各所管部署において管理および施設の統廃合や更新についての検討を行っています。施設の更新や統廃合に係る事業費等については、財政負担の平準化を図り、計画的に整備方針を立てることが必要であるため、今後の中期財政計画または総合計画等に反映させていきたいと考えています。なお、すべての公共施設の統廃合あるいは更新については、全庁的なプロジェクトを立ち上げ、財政需要を踏まえ、いつできるかについても含め、検討していきたいと思えます。

### 市政一口メモ

#### ※2 ハイパーQ.U.検査

従来の「学校生活意欲」「学級満足度」の診断尺度に加えて、対人関係を築く際に必要なソーシャルスキル尺度で構成される心理検査。検査結果は、学級集団と

個人の状態について、標準化されたデータをもとに客観的な分析がされる。検査結果を検討することで、学級や児童・生徒個人の課題に対して、組織的な支援ができる。

小中学校エアコン設置整備

問 平成25年度中学校11校、小学校8校、平成26年度小学校19校にエアコン設置する中で、25年度の小学校8校とはどこか。

教育部長 地球温暖化現象に伴う夏季の気温上昇による児童生徒の健康対策として、空気熱源ヒートポンプエアコンを13年間のリースで設置する計画です。平成25年度に設置する小学校8校について現時点では決定していません。大規模校や小規模校、また地域の学校環境、予算配分等を勘案しながら、早急に決定していきます。

50万県南中核都市構想

篠崎佳之

問 新しい時代の行政づくりについて、50万県南中核都市の構想は。

企画財政部長 平成12年に地方分権一括法が施行され、自治体の判断と責任で行政サービスや施策の内容を決定し、実施していく地方分権が進められています。そんな中、行財政基盤の強化が必要になり、その手段として近隣市町との合併があります。

近隣市町との合併による50万県南中核都市の実現は、地方分権の受け皿としてふさわしい体力や能力をつけ、効率的な行政を目指していく上で重要な施策と考えています。野木町を最優先に、栃木市、下野市、結城市、岩舟町との合併を想定しているところで

渡良瀬遊水地の活用

問 自然とふれあうまちづくりについて、渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録による活用はどのようなものか。

市長 渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画の早期実現ラムサール条約湿地登録の国際ブランド力の活用、コウノトリ・トキの野生復帰の推進、遊水地および周辺地域の活性化と地域振興を図っていきます



4市2町に広がる渡良瀬遊水地

市政一口メモ

※3 道州制

北海道以外の地域に数個の州を設置し、道州に現在の都道府県より高い地方自治権を与える将来構想上の制度。州の呼称については、数案あるが、ほとんど

の案で北海道はそのままとして存続するため、州制ではなく道州制と呼ばれる。様々な権限、財源、人材等を移管することで、地域活性化、地方経済再生の実現などが期待できる。

す。

企画財政部長 関係4市2町間でも意見交換や連携協力を図っており、(仮称)渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の立ち上げに向けて現在進めているところです。この協議会において、連携した取り組み、協議をして、地域振興の計画づくりを進めていきます。

合併協議の進捗状況

大木英憲

問 50万県南中核都市について、近隣市町との合併協議はどこまで進んでいるのか。

市長 今後の合併協議については、野木町を最優先に、その後栃木市、そして下野市との合併推進を考えています。新しい国の形として地域主権型の道州制が掲げられています。道州制の推進を見据え、引き続き近隣市町との連携・協調しながら50万県南中核都市実現を図ります。

企画財政部長 小山市と近隣

市町には自然や歴史的資源等が豊富に存在しており、合併による一体的な活用も考えられ、ネットワークを図ること、人口流入および定住化を促進し、50万県南中核都市の実現を目指していきます。

私立高校誘致活動計画

問 私立高校の誘致活動を、どのように進めてきたのか。今後の計画について見解を問う。

企画財政部長 私立高等学校誘致促進調整会議を設置し、また白鷗大学に協力を要請し、誘致に向け事業を推進してきました。しかし、誘致反対の要望書が提出され、白鷗大学も進出を断念する形になりました。

その後も首都圏の私立大学を対象にアンケートを行い、また私立高等学校等誘致構想を策定し、ホームページでの情報提供も行っていきます。厳しい状況ではありますが、

今後より広範な分野から情報収集を図り、地元学校法人を中心に誘致に向けた働きかけを行っていきます。

レジャープール建設

橋本守行

問 (仮称)こどもの国の建設で、ゴミ処理施設の余熱を利用したレジャープールの建設の進捗状況は。

企画財政部長 市内には現在レジャープールがなく、市民は市外のレジャープールへ出てかけており、施設の整備が求められています。市では小山広域保健衛生組合が整備を進めるエネルギー回収推進施設からの熱エネルギーを有効活用し、流れるプール等の整備を図りたいと考えています。

具体的には、懇談会を設置し、今年度から2力年で基本構想・基本計画を策定、平成28年度の供用開始に向けて全力で取り組んでいきます。



栗宮新都心整備

問 栗宮新都心構想策定について、周辺公共施設と栗宮地域が一体となった面の整備を推進してもらえないか。

市長 プロポーザル方式によるより高度な知識と経験と実績を有するコンサルタントに業務委託を決定しました。緑豊かで新市民病院を核とした緑の健康づくりの森や消防署警察署が進出する栗宮および周辺地区を、自治医大の進出により整備された自治医大周辺の都市空間のように発展させていきたいと考えます。

当地域の道路、新駅、交通体系整備等の都市づくり方針を体系的に整理し、幹線道路や公共施設の整備と一体となった夢と魅力があり人を呼び込める市街地整備を目指すものとして策定します。

道德教育の充実強化

大木 元

問 道德教育の充実について、小山市の未来を担う人材を育てるため、道德教育の充実強化を今後どう進めるのか。

教育長 市内各学校において、児童生徒および学校の実態や保護者の願い等をもとに、「思

いやり」や「生命尊重」などに特に重点として育てたい心や態度を示し、学校全体で取り組んでいます。

これまで16年にわたり、道德教育拠点校を指定して研究を深め、道德教育研修会等を開催するなど、道德の時間の充実がさらに図れるよう努めています。

今後もしっかりと道德教育を位置づけた上で、家庭、地域社会と十分連携を図りながら道德教育の推進に努めていきます。

不妊治療費助成の増額

問 不妊治療費について、子どもを授かるために保険適用範囲内の治療費の助成を、さらに増額できないか。

保健福祉部長 不妊治療費助成は少子化対策の重要な施策として、平成16年度から実施しています。

自由診療による高額な不妊治療に対しても、保険診療と同等の助成を行い、経済的負担を軽減することを目的としており、県の助成制度との併用により、おおむね保険診療と同等の7割程度が助成されています。

助成額の増額については、

治療技術の高度化等に伴い治療費が上昇するなど現状に大幅な変化が生じた場合、検討していきたいと考えています。

個人質問から(質問順)

「いいねーカード」の推進

山口 忠保

問 日本一の市役所づくりを目指して、クレームゼロ運動の展開や、内部で寝めあう「いいねーカード」の推進を

総務部長 市役所は最大のサービス機関と位置づけて、親しまれる市役所づくりのため、親切的な対応が大切と考えています。市民アンケートでのクレームの割合は減少していますが、クレームゼロに向けては、さらなる取り組みが

必要です。職員間での情報の共有化を図り、意識改革と改善に努め、サービスの向上に努めていきます。

「いいねーカード」については、職員のモチベーションの向上、コミュニケーションの拡大を図る手段として、導入の検討を考えていきます。

まちづくり研究会の成果と課題

植村 一

問 地区まちづくり条例制定以降、まちづくり研究会・推進団体が取り組んできた活動の成果と今後の課題は。

市長 羽川、栗宮、雨ヶ谷横倉新田、間々田駅周辺の各地区においては、まちづくり団体と連携して、社会資本整備総合交付金を活用し、狭隘

次回定例会の予定

11月29日(木)	本会議(開会・議案上程)
12月3日(月)	本会議(一般質問)
12月4日(火)	本会議(一般質問)
12月5日(水)	本会議(一般質問)
12月6日(木)	本会議(一般質問・付託)
12月10日(月)	委員会
12月11日(火)	委員会
12月12日(水)	委員会
12月13日(木)	委員会
12月14日(金)	委員会
12月21日(金)	本会議(採決・閉会)

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。

平成24年第3回定例会の傍聴者数

9月定例会の傍聴人数は、本会議89人でした。

( 9月3日=9人・5日=18人 )  
( 6日=19人・7日=25人 )  
( 10日=14人・26日=4人 )



周辺自治会とまちづくり団体が協働で開催する間々田駅東口まつり

道路の解消や公園等の整備を推進しています。まちづくりには道路等の整備に留まらず、コミュニティ維持や活性化などソフト面の取り組みも重要と考え、若年層や女性などの積極的な参画が必要であり、いかに理解してもらえかが課題と考えています。

議会日誌

〔7月〕

- ▽10日 議員説明会
- ▽12日 議会広報委員会
- ▽20日 県市議会議長会議・研修会

〔8月〕

- ▽3日 市執行部との定例懇談会／会派代表者会議
- ▽6日 小山市民病院整備対策特別委員会
- ▽7日 県南6市市議会議長会定例会・研修会
- ▽8日 議員説明会
- ▽10日 議会運営委員会
- ▽28日 議会運営委員会

〔9月〕

- ▽30日～31日 東松島市議会訪問（正副議長）

〔10月〕

- ▽3日 議会運営委員会
- ▽5日 議会広報委員会
- ▽6日 小山市民病院整備対策特別委員会
- ▽7日 議会報告会運営委員会
- ▽10日 議員説明会／小山駅周辺都市整備対策特別委員会
- ▽12日 民生消防常任委員会
- ▽13日 教育経済常任委員会
- ▽14日 建設水道常任委員会
- ▽18日 総務常任委員会
- ▽19日 予算審査特別委員会／決算審査特別委員会

第1回議会報告会が開催されました

10月1日～4日、市内6会場において初めての『議会報告会』を開催しました。議員が議会活動の状況を市民の皆様へ直接、報告・説明し、意見交換も行いました。



※詳細につきましては、次号に掲載させていただきます。

視察来訪

〔7月〕

- ▽5日 稲沢市（愛知県）4名  
〓 クレジット収納の取り組み、議会改革
- ▽25日 郡山市（福島県）8名  
〓 地産地消・食育の推進に関する条例
- ▽26日 松山市（愛媛県）2名  
〓 交通情報推進システム「インターナビ」を活用した交通安全事業

〔9月〕

- ▽26日 会派代表者会議
- ▽28日 議会運営委員会／議会報告会全体会議
- ▽28日 会派代表者会議
- 〔10月〕
- ▽1日 議会報告会（間々田・大谷地区）
- ▽2日 議会報告会（豊田・桑地区）
- ▽3日 議会報告会（絹地区）
- ▽4日 議会報告会（小山地区）

市議補選結果

欠員2名による市議会議員補欠選挙が、去る7月22日に行われ、大木元氏、安藤良子氏が当選しました。

議場見学

〔10月〕

- ▽11日 網戸小学校、下生井小学校・16名
- 〔10月〕
- ▽2日 安城市（愛知県）9名  
〓 議会基本条例



安藤 良子 議員

神鳥谷2259番地13  
建設水道常任委員会・小山駅周辺都市整備対策特別委員会・決算審査特別委員会



大木 元 議員

出井1935番地1  
教育経済常任委員会・小山駅周辺都市整備対策特別委員会・決算審査特別委員会



今年の夏は本日が暑い日が続きました。真

夏日が41日もあり、記録を更新しようです。しかし、このところ秋らしくなり、衣替えの時期になってきました。運動の秋、食欲の秋など人の活動も活発になります。小山市でも市民一人一スポーツを推進しています。いつまでも健康でいたいと、誰もが思うものです。

現在、緑の健康づくりの森基本計画（案）も進んでいます。市民の安心・安全の拠点施設等になるよう構築していきたいかなければなりません。そして、市議会でも議会基本条例制定後、初の議会報告会が各地区で行われました。市民の皆様は議会の役割、活動を知っていただくために、今後とも少しずつ議会も衣替えをして、理解を得ていきたいと思えます。

福田（洋）